

2014年度実績の概要

2015年5月13日

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

2014年度総括

- 国際部門や市場営業部門の好調、クレジットコストが低水準であったこと等により、SMFG連結当期純利益は7,536億円
- 中期経営計画初年度として順調なスタート
- 1株当たり配当を前年比 + 20円増加、株主還元を強化

中期経営計画の財務目標の進捗

		13年度	14年度	16年度 目標
成長性	連結粗利益 成長率	-	+2.8%	+15%程度 ^{*1}
収益性	連結ROE	13.8%	11.2%	10%程度
	連結当期純利益 RORA	1.4%	1.1%	1%程度
	連結経費率	54.2%	55.7%	50%台半ば
健全性	普通株式等 Tier1比率 ^{*2}	10.3%	12.0%	10%程度

1株当たり情報(SMFG連結)

(円/株)	14年度	前年比	14/11月 目標比	15年度 目標
当期純利益	551.18	60.27	+39.21	555.86
配当	140	+20	+10	150

	15/3月末	14/3月末比
純資産	6,598.87	+1,275.00

格付(SMBC)

Moody's	S&P	Fitch	R&I	JCR
A1/P-1	A+/A-1	A-/F1	AA-/a-1+	AA/J-1+

2014年度業績サマリーと2015年度業績目標

P/L

(億円)		14年度		前年比	上期目標	15年度 目標
		14年度	前年比			
SMFG 連結	連結粗利益	29,804	+822			
	連単差	13,461	+61			
	営業経費	16,593	894			
	連結業務純益	13,105	281			
	与信関係費用	78	569			
	経常利益	13,212	1,112		6,200	12,400
	連単差	3,652	1,147		2,300	5,000
	当期純利益*1	7,536	817		3,800	7,600
	連単差	1,106	1,194		1,000	2,500

SMBC以外の主要グループ会社の 連結粗利益寄与(概数)

(億円)	14年度	前年比
SMBC日興証券	3,310	+10
三井住友ファイナンス&リース	1,360	+80
三井住友カード	1,940	+70
SMBCコンシューマーファイナンス	2,150	+330
SMBCフレンド証券	500	80
セディナ	1,650	40

SMBC以外の主要グループ会社の 連結当期純利益寄与(概数)

(億円)	14年度	前年比
SMBC日興証券	650	+0
三井住友ファイナンス&リース	280	+30
三井住友カード	170	+10
SMBCコンシューマーファイナンス	110	180
SMBCフレンド証券	70	30
セディナ	30	230

		14年度	前年比	上期目標	15年度 目標
SMBC 単体	業務粗利益	16,343	+761	8,000	15,800
	経費*2	7,912	455	4,100	8,200
	業務純益*3	8,431	+306	3,900	7,600
	与信関係費用	801	438	50	0
	株式等損益	526	538		
	その他臨時損益	198	+704		
	経常利益	9,560	+35	3,900	7,400
	当期純利益	6,430	+377	2,800	5,100

*1 企業結合に関する会計基準(企業会計基準第21号)等の改正(2013年9月13日)に伴い、2015年4月1日に開始する事業年度より当期純利益(連結)の表記を変更

*2 臨時処理分を除く *3 一般貸倒引当金繰入前

■ トップライン概要

連結粗利益の科目別内訳

(億円)	13年度	14年度	前年比
連結粗利益*1	28,982	29,804	+822
資金利益	14,842	15,052	+210
うちSMBC	10,649	11,214	+565
うちSMBCコンシューマファイナンス	1,240	1,490	+250
信託報酬	25	29	+4
役務取引等利益	9,846	9,967	+121
うちSMBC	3,574	3,500	74
うち三井住友カード	1,700	1,780	+80
うちSMBC日興証券	1,890	1,730	160
うちセディナ	1,190	1,160	30
特定取引利益	2,119	1,951	168
うちSMBC	368	128	240
うちSMBC日興証券	1,340	1,520	+170
その他業務利益	2,151	2,805	+654
うちSMBC	972	1,482	+510
うち三井住友ファイナンス&リース	980	1,150	+170

期中平均貸出残高・スプレッド*2

(兆円、%)	平均残高		スプレッド	
	14年度	前年比*8	14年度	前年比*8
国内貸出*3	47.7	+0.3	0.92	0.05
うち大企業*4	13.3	+0.1	0.61	0.03
うち中堅・中小企業*5	16.1	+0.3	0.90	0.10
うち個人	14.6	0.3	1.39	0.02
国際部門運用資産*6,7	2,144億ドル	+262億ドル	1.21	+0.03

(参考) SMBCマーケティング部門の粗利益内訳

(億円)	13年度	14年度	前年比*8
シンジケーション	388	420	+32
ストラクチャードファイナンス	253	221	32
アセットファイナンス*9	156	153	3
デリバティブ販売	204	250	+46
国内法人ビジネス関連	1,001	1,044	+43
投資信託	449	367	82
個人年金	77	127	+50
一時払終身保険	83	84	+1
平準払保険	84	74	10
国内個人ビジネス関連	693	652	41
うち振込・E B	919	922	+3
うち外為収益	533	519	11
国内非金利収益	3,192	3,133	54
うちローン関連手数料	630	655	23
国際部門非金利収益	1,214	1,175	41
非金利収益	4,406	4,308	95
うち国内貸出金収益	4,466	4,265	199
うち国内円預金収益	1,208	1,209	+1
うち国際部門金利関連収益	1,746	2,278	+249
金利収益	8,193	8,567	+25
SMBCマーケティング部門粗利益*10	12,599	12,875	70

*1 SMBC以外の内訳は概数 *2 内部管理ベース *3 SMBC単体 *4 GCB本部 *5 CB本部、エリア企業本部の合算

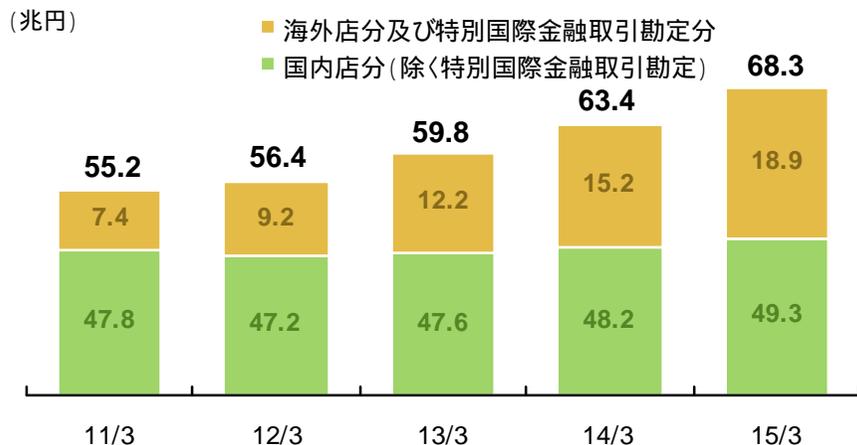
*6 SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行(中国)の合算 *7 貸出金・貿易手形・有価証券の合計 *8 金利・為替影響等調整後ベース

*9 不動産ファイナンス、金銭債権流動化等

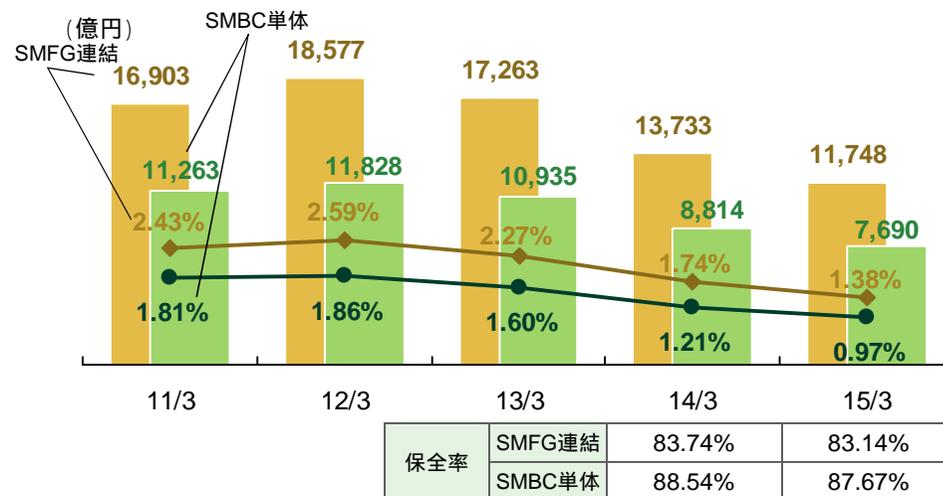
*10 内部管理ベース。国内営業体制の見直しに伴い、14年度より管理区分を変更。13年度実績は、見直し後の管理区分に基づき算出

主要項目の時系列推移

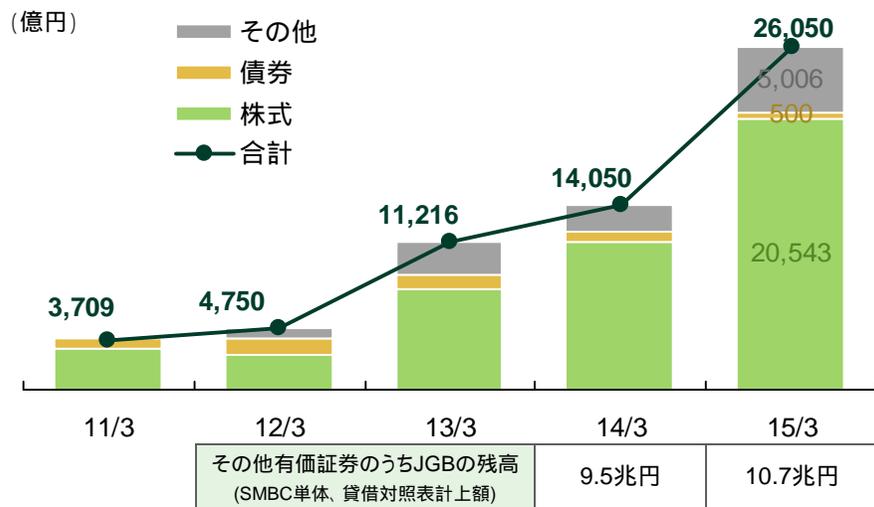
貸出金残高 (SMBC単体)



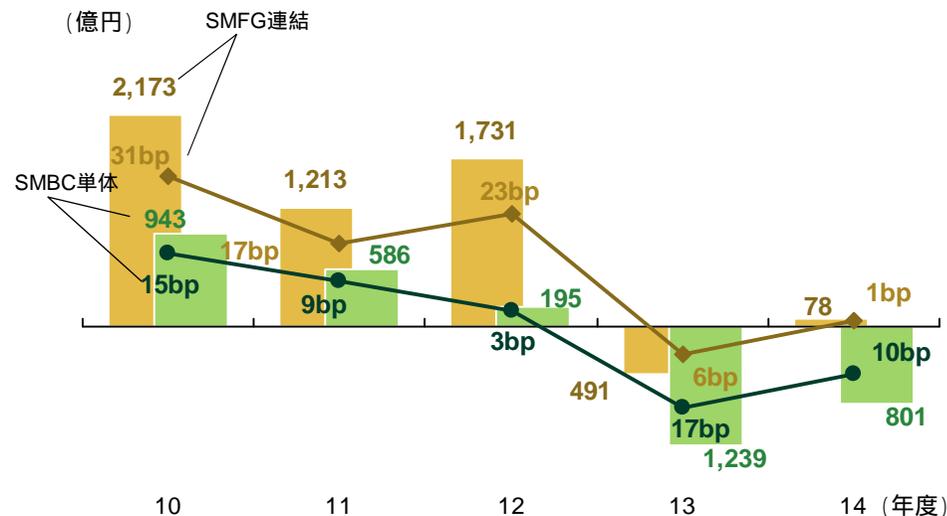
不良債権残高及び同比率*1



その他有価証券評価損益 (SMFG連結)



与信関係費用及び同比率*2



*1 不良債権比率 = 金融再生法開示債権残高(除く正常債権) / 総与信

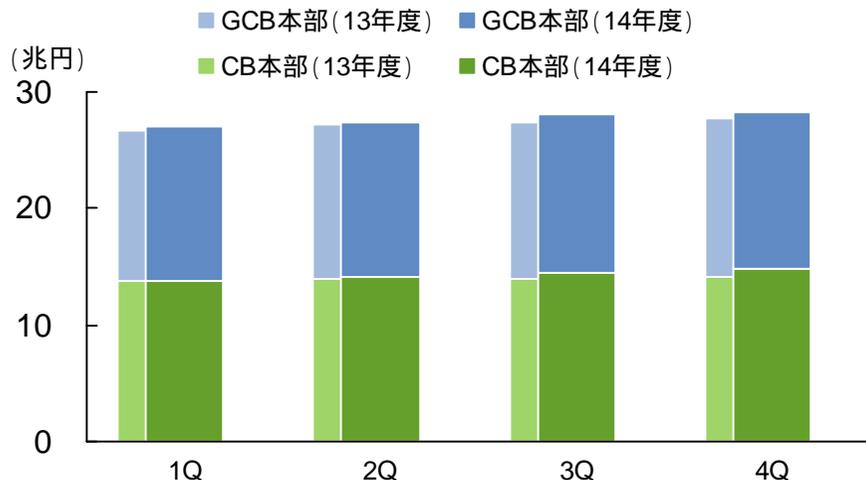
*2 与信関係費用比率 = 与信関係費用 / 総与信

部門別実績*1

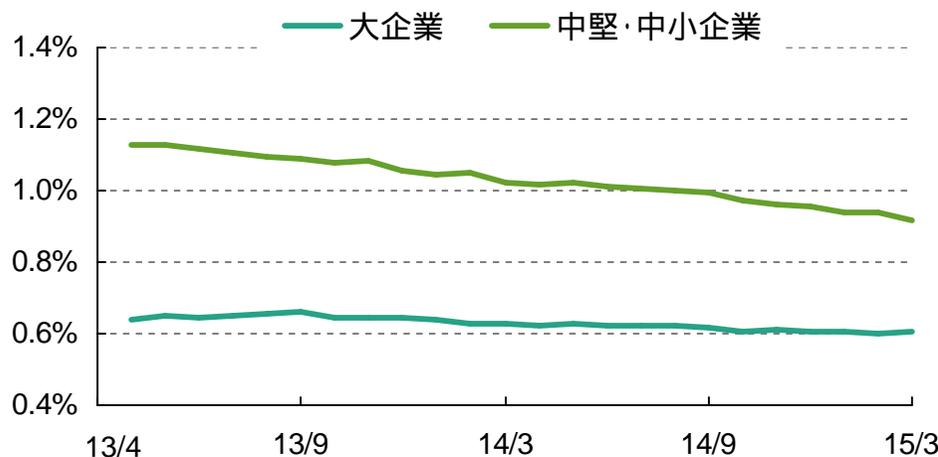
		(億円)	13年度	14年度	前年比*2
ホールセール部門	粗利益		7,176	7,290	+29
	経費		2,851	3,006	103
	業務純益		4,325	4,284	74
リテール部門	粗利益		4,800	4,784	15
	経費		3,541	3,734	206
	業務純益		1,259	1,050	221
国際部門	粗利益		4,959	5,931	+410
	経費		1,831	2,262	250
	業務純益		3,128	3,669	+160
うちマーケティング部門	粗利益		16,935	18,005	+424
	経費		8,223	9,002	559
	業務純益		8,712	9,003	135
うち市場営業部門	粗利益		3,392	3,748	+356
	経費		259	307	29
	業務純益		3,133	3,441	+327
うち三井住友ファイナンス&リース	うち粗利益		1,259	1,370	+111
	うち経費		548	579	31
	業務純益		730	805	+75
うちSMBC日興証券	粗利益		3,396	3,500	+61
	経費		2,359	2,495	106
	業務純益		1,037	1,005	45
うちCF・カード*3	粗利益		5,399	5,761	+146
	経費		3,383	3,638	112
	業務純益		2,016	2,123	+34
合計 (SMFG連結)	うち粗利益		28,982	29,804	+822
	うち経費		15,699	16,593	894
	業務純益*4		13,385	13,105	281

ホールセールビジネス

ホールセール部門貸出金残高(SMBC単体)*1, 2, 3

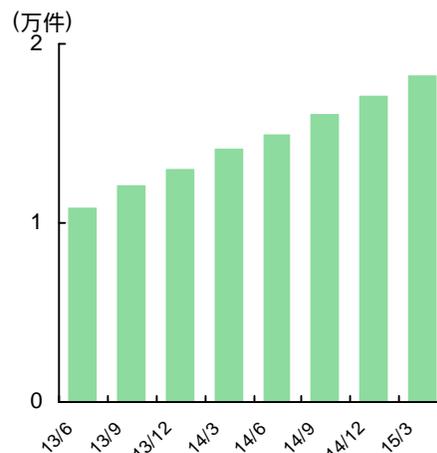


国内法人向け貸出金スプレッド(SMBC単体)*1, 4

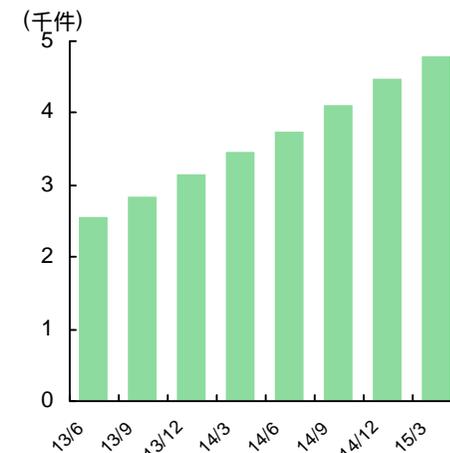


銀証連携(SMBCから日興への法人のお客さまの紹介・仲介)

運用業務(累積件数)



投資銀行業務(累積件数)



リーグテーブル(SMBC日興証券、14年4月-15年3月)

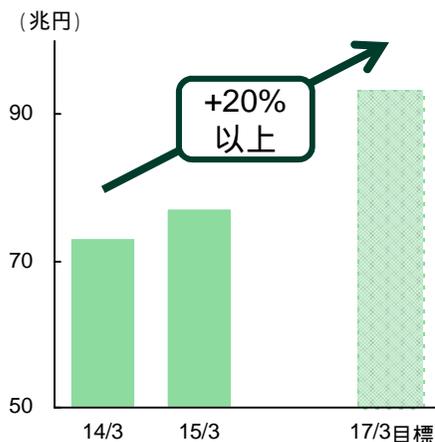
	順位	13年度実績	シェア	13年度比
株式関連 (ブックランナー、引受金額)*5	2位	3位	17.0%	+3.1%
円債総合 (主幹事、引受金額)*6	5位	5位	15.6%	+0.7%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数)*7	3位	3位	2.8%	0.2%

*1 内部管理ベース。国内営業体制の見直しに伴い、14年度より管理区分を変更。13年度実績は、見直し後の管理区分に基づき算出 *2 四半期平残
 *3 GCB本部: グローバルコーポレートバンキング本部、CB本部: コーポレートバンキング本部 *4 月中平残、ストックベース *5 出所: トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成(日本企業関連、海外拠点を含む) *6 出所: トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成
 (事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債) *7 出所: トムソンロイター(日本企業関連公表案件(不動産案件除外))

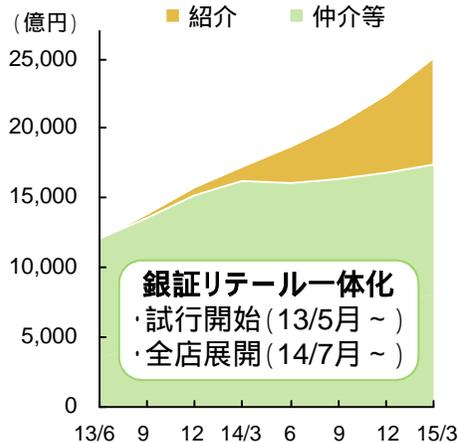
■ リテールビジネス / SMBC日興証券の業績

銀証連携(個人)

リテール預り資産残高
(SMBC+SMBC日興証券)



銀証連携による預り資産残高*1
(SMBC日興証券)

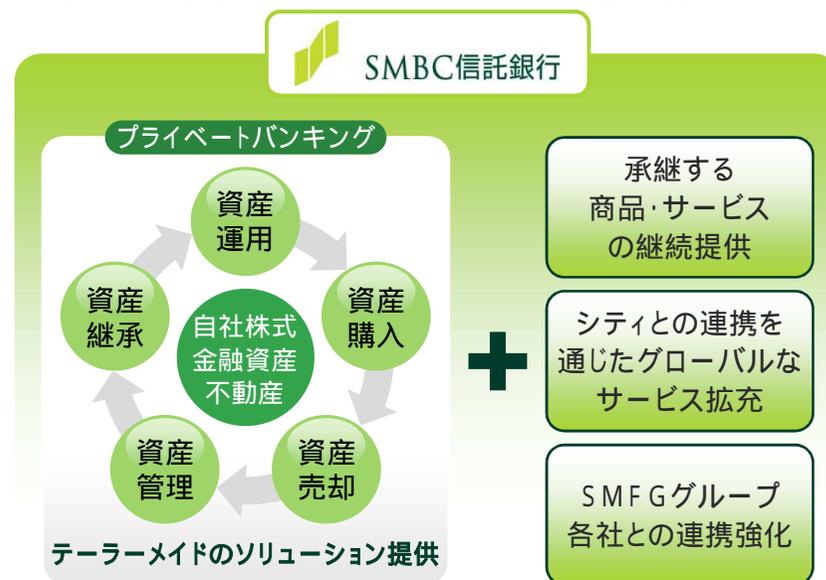


SMBC日興証券の業績

(億円)	13年度	14年度	前年比
純営業収益	3,279	3,292	+13
販売費・一般管理費	2,278	2,352	74
経常利益	1,021	962	59
当期純利益	646	647	+1

シティバンク銀行のリテールバンク事業取得

- SMBC信託銀行は、関係当局からの許認可等を前提に、2015年11月1日に、シティバンク銀行のリテールバンク事業を統合予定
 - 預金: 2兆4,400億円*2、店舗数: 32支店*3、顧客数: 約74万人*2
- SMBC信託銀行が目指す銀行像
 - 他の邦銀と異なる、独自性の高い銀行
 - SMBCとのシステムインフラ共有化等によるコスト削減を通じ収益力を強化し、当社グループの中核信託銀行へ



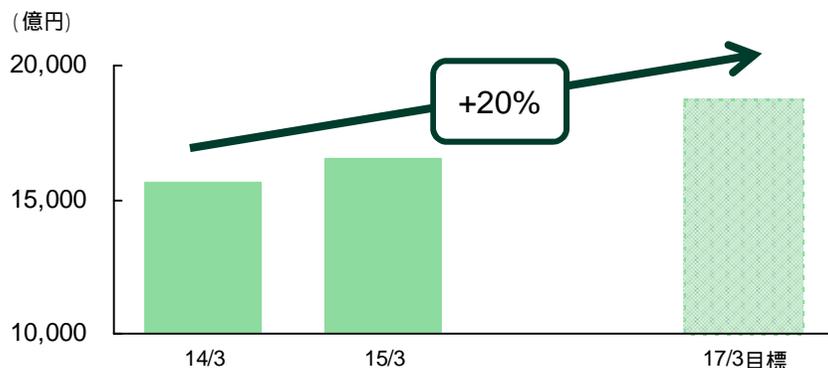
● 統合準備は順調に進展

- 2015年4月より、シティバンク銀行のお客さまのSMBCのATM利用手数料、SMBCのお客さまのシティバンク銀行宛振込手数料等を優遇

*1 SMBCからSMBC日興証券への紹介及び、SMBCの金融商品仲介業務を通じた、SMBC日興証券における預り資産残高。2011年1月にSMBCフレンド証券のリテール銀証協働事業をSMBC日興証券へ統合した際の移管口座における残高、SMBC日興証券のプライベートバンキング本部における残高を含む *2 2014年9月末時点 *3 2014年11月末時点

■ コンシューマーファイナンス

無担保カードローン残高 (SMBC+SMBCコンシューマーファイナンス)



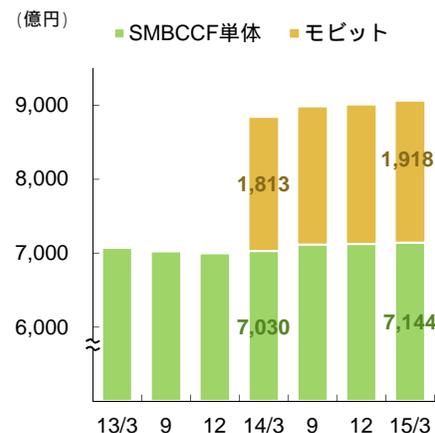
SMBCコンシューマーファイナンス：業績 (連結)

(億円)	13年度	14年度	前年比
営業収益	1,948	2,283	+335
営業費用のうち利息返還費用 ^{*1}	387	448	61
経常利益	265	166	99
当期純利益	294	112	182

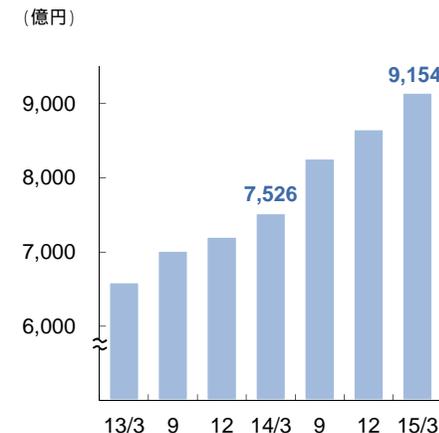
営業貸付金残高	9,376	9,803	
利息返還損失引当金	1,528	1,276	
保証残高	7,526	9,154	
うち地方銀行等向け	2,743	3,724	保証事業提携先数 189社 (15/3月)

SMBCコンシューマーファイナンス：金融・保証・海外事業

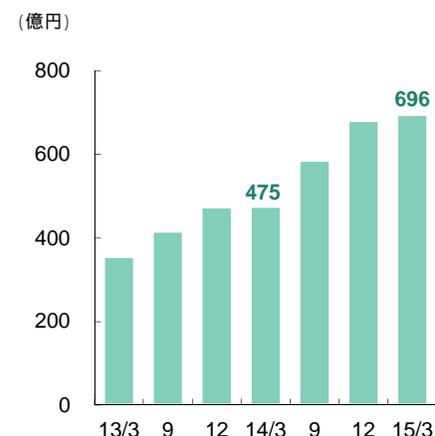
営業貸付金残高



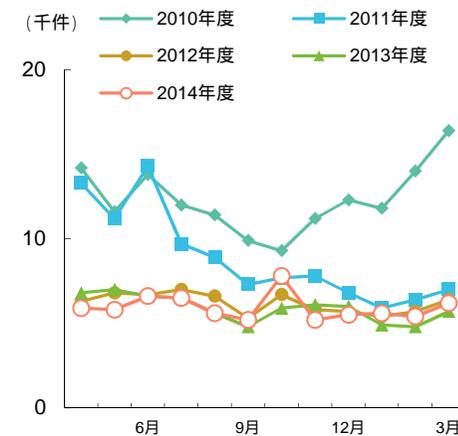
保証残高



営業貸付金残高 (海外)^{*2}



利息返還請求件数



海外ビジネス

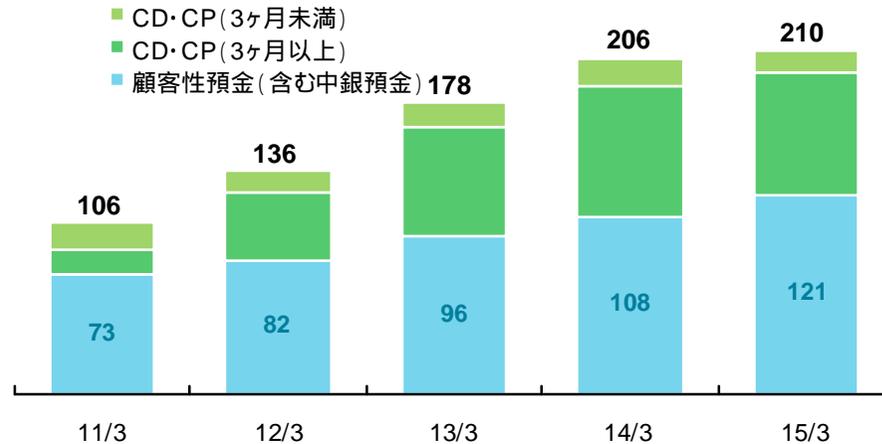
海外貸出金残高*1, 2

(10億米ドル)



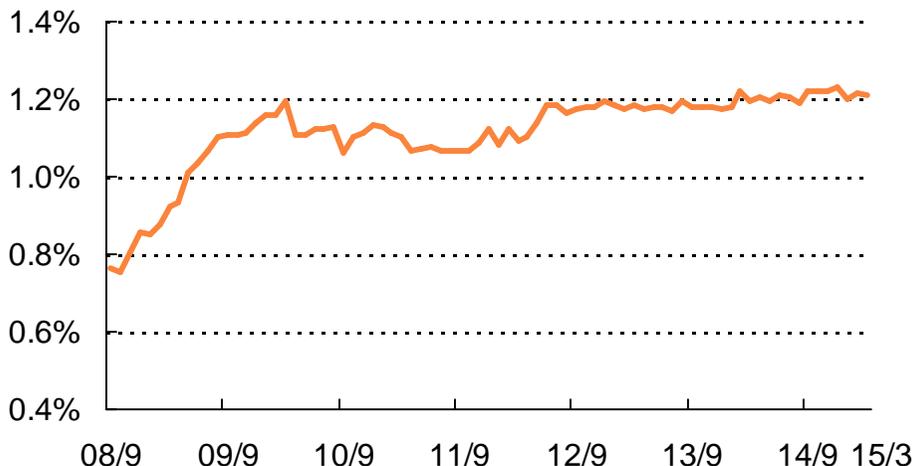
海外預金等残高*1, 2

(10億米ドル)



外貨建債券発行残高*4 (10億米ドル)	シニア		劣後	
	13/3	14/3	13/3	14/3
	19.2	25.1	3.3	4.7

海外貸出金スプレッド*1, 3



プロジェクトファイナンス / シンジケートローン

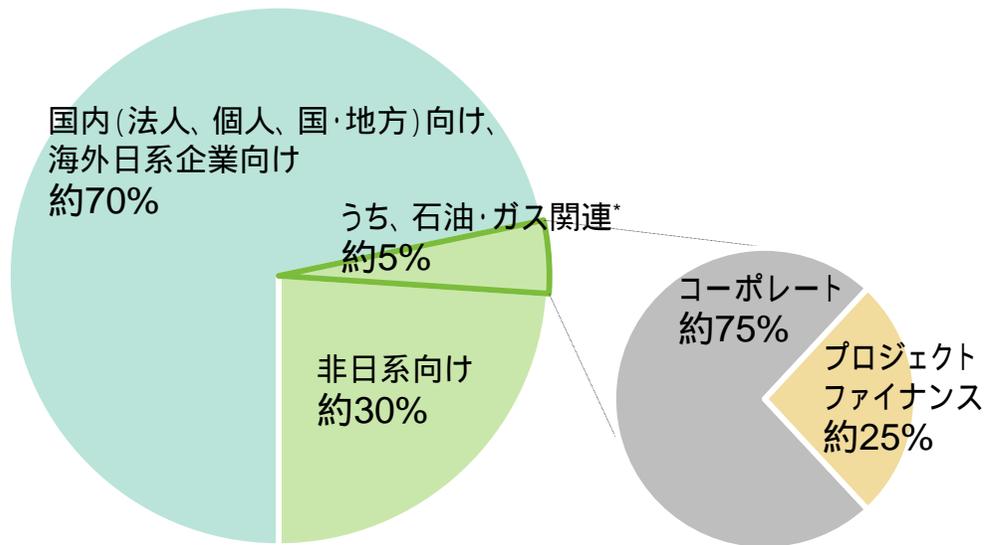
- Project Finance International誌より、Global Bank of the Yearを受賞(2008年、2012年に続き3度目、業界で最多の受賞)

リーグテーブル(2014年1-12月)*5

	グロ - バル	アジア*6	日本
プロジェクトファイナンス	2位	5位	
シンジケートローン	12位	6位	3位

(参考) 石油・ガス関連 / ロシア / 南欧・中東向けエクスポージャー

SMFG連結エクスポージャーに占める 石油・ガス関連エクスポージャー



- 非日系の石油・ガス関連与信額は約500億米ドル。そのうち、石油メジャーを含む、価格下落影響を受けやすい企業向けの与信額は300億米ドル未満
- 石油・ガス関連与信のうち、約90%が格付「1-3」の高格付先

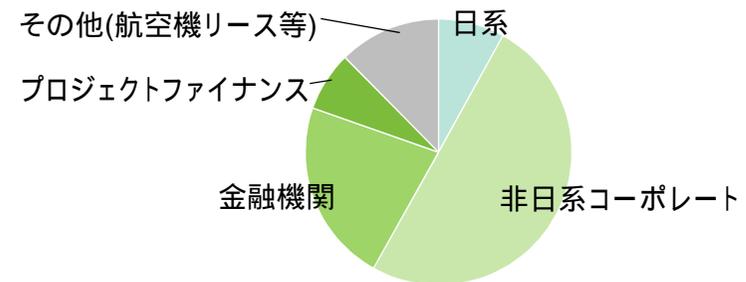
ロシア向けエクスポージャー

(10億米ドル)

14/3月末	15/3月末	前年比
6.2	5.1	1.1

SMFG連結与信額比、1%未満

ロシア向けエクスポージャーの内訳



南欧・中東向けエクスポージャー

(10億米ドル)	14/3月末	15/3月末	主な与信
南欧	5.5	4.2	-
うちスペイン	2.4	2.2	大企業向け、 プロジェクトファイナンス
うちイタリア	2.8	1.9	
うちポルトガル	0.0	0.1	
うちギリシャ	0.1	0.1	航空機リース
中東	12.7	14.2	-
うちトルコ	3.4	3.0	トレードファイナンス
うちUAE	3.6	3.1	大企業向け、 プロジェクトファイナンス
うちカタール	2.1	2.7	
うちサウジアラビア	1.7	2.8	

■ 資本・リスクアセット (SMFG連結)

自己資本比率(規制基準)

	(億円)	14/3月末	15/3月末 (速報値)
普通株式等Tier1資本		65,508	74,765
うち普通株式に係る株主資本		63,123	69,090
うちその他の包括利益累計額 ^{*1}		1,756	8,015
うち調整項目 ^{*1}		1,938	4,604
Tier1資本		75,143	85,286
うち適格旧Tier1資本調達手段 ^{*3}		12,121	11,243
うち調整項目 ^{*1,2}		4,154	3,482
Tier2資本		20,471	24,373
うちTier2資本調達手段		-	3,750
うち適格旧Tier2資本調達手段 ^{*3}		16,274	14,240
うちその他有価証券及び土地の含み益の45% ^{*2}		5,066	6,994
うち調整項目 ^{*1,2}		1,821	1,652
総自己資本		95,614	109,659
リスクアセット		616,233	661,368
普通株式等Tier1比率		10.63%	11.30%
Tier1比率		12.19%	12.89%
総自己資本比率		15.51%	16.58%

普通株式等Tier1比率(完全実施基準^{*4}(試算値))

	(億円)	14/3月末	15/3月末
規制基準との差異 ^{*5}		1,776	4,412
うちその他の包括利益累計額		7,024	12,023
うちその他有価証券評価差額金		7,596	10,746
うち少数株主持分(経過措置対象分)		1,048	705
うち普通株式等Tier1資本に係る調整項目		7,751	6,906
普通株式等Tier1資本(完全実施基準)		63,732	79,177
リスクアセット(完全実施基準)		613,392	659,259
普通株式等Tier1比率(完全実施基準)		10.3%	12.0%
(参考) 普通株式等Tier1比率(完全実施基準、その他有価証券評価差額金除く)		8.7%	9.0%

15年度中に任意償還日が到来する優先出資証券

	発行時期	発行総額	配当率 ^{*6}	任意償還 ^{*7}	ステップアップ
SMFG Preferred Capital JPY 2 Limited					
シリーズC	08/12	1,400億円	4.87%	16/1以降	なし
シリーズF	09/1	20億円	4.80%	16/1以降	なし

レバレッジ比率(規制基準(速報値))

● 15/3月末: 4.45%

*1~3 経過措置の対象項目(Tier1及びTier2の調整項目は*1と*2の両方の項目を含む) *1 総額の20% / 40%(前者が14/3月末、後者が15/3月末。以下同様)が資本算入 *2 総額の20% / 40%分の算入除外反映後の金額 *3 算入上限80% / 70% *4 19/3月末に適用される定義に基づく *5 経過措置により総額の20% / 40%相当が規制基準で調整されているため、本欄には総額の80% / 60%相当額を記載 *6 任意償還日以降の配当率は変動配当率 *7 予め金融庁長官の確認を受けた上で、各配当支払日に任意償還可能

2014年度のトピックス

国内ビジネス

- SMBCにおいて、発足以来となる大規模な国内営業体制の見直しを実施(14/4月)

法人ビジネス

- ヘルスケアREITの上場や再生可能エネルギー向けファンドへの出資等、成長産業支援に向けた取り組みを推進
- 評価型融資の推進や日本銀行の貸出支援基金を活用した設備投資支援等、顧客基盤拡充に繋がる貸出を増強
- SMBC日興証券が引受業務のリーゲテーブルにおいて株式関連で2位*1、円債総合で5位*2

個人ビジネス

- 銀証リテール一体化ビジネスモデルを全店展開(14/7月~)。SMBC日興証券では連携強化に向け11支店を開設(14/4月以降)
- SMBCがFacebookおよびLINEにおいて公式アカウントを開設。オリジナルキャラクター導入、新テレビCM放映開始等
- SMBC信託銀行が、シティバンク銀行から同社のリテールバンク事業を取得することに合意、15/11月に統合予定

海外ビジネス

- SMBCがマニラ支店開設の予備認可取得。SMBCがヤンゴン*3、欧州三井住友銀行がプラハ及びマドリード、三井住友ファイナンス&リースがニューヨーク、三井住友カードがシンガポール、SMBCコンシューマーファイナンスが上海に拠点を開設
- SMBCが、アクレダ・バンク(カンボジア)に出資。また、東亜銀行(香港)宛に追加出資し、持分法適用会社化
- Project Finance International誌より、Global Bank of the Yearを受賞(2008年、2012年に続き3度目、業界最多の受賞)
- 海外プロジェクトファイナンス貸付債権への地方銀行との共同出資スキームをSMBC日興証券と協働し構築

その他

- コーポレートガバナンス強化・充実の一環として、「SMFGコーポレートガバナンス・ガイドライン」を策定。また、SMFG、SMBCにおいて社外取締役・監査役を計8名増員し、SMFGの社外取締役の割合は3分の1以上となる予定(15/6月株主総会に付議予定)

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与うるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。